

学習目標

本校の書道Ⅰの目標

前期課程の書写の授業を基礎とし、様々な古典を学習することで書の美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を養う。また書の伝統と文化についての理解を深め、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

第4学年の目標

様々な漢字の古典の技法を学び、創造的な表現をするための技能を身につける。

仮名の書では日本の伝統的な仮名の美を理解する。

篆刻の技法を学び押印することで作品の完成度を高める。

学習方法

授業の流れ

- ・出欠確認
- ・本時のねらい、授業内容確認
- ・練習、創作等
- ・本時のまとめ

評価の観点・方法

観点①書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。				
観点② 書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。				
観点③ 創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。				
観点④ 鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	学習状況観察	◎	○	○	○
	作品 (提出物)	○	◎	◎	○

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・書写から書道の認識 ・用具用材の確認 ・書体の変遷の理解 ・楷書の基本的な点画や線 ・初唐の三大家のそれぞれの特色を理解する。	後期からは書写を基礎とし古典を学ぶ。 用具用材が多種あること、それぞれの特徴を学ぶ。 古典を学ぶ意義や拓本について学ぶ。 唐代の歴史を知りそれぞれの特色を理解し臨書する。	
2 学 期	・行書の基本的な点画や線質の表し方。 ・王羲之や空海の行書の技法を理解する。 ・篆書の用法を理解する。 ・篆刻の技法を理解する。	臨書を通じて表現方法を知る。 書聖と言われた王羲之の書と人について学ぶ。 身近な篆書をみつけ興味をもって技法を学ぶ。 姓名印を作る	
3 学 期	・仮名の成立を理解し仮名の用法を理解する ・漢字仮名交じりの書、今まで学習してきたことを生かし、自分らしい表現をする。	仮名の基本的な用筆法を学び平安時代の古筆の美と技法を学ぶ。 漢字と仮名の調和した表現の方法を学ぶ。	

学習のアドバイス

様々な書体、それぞれの古典を理解し、積極的に授業に取り組みましょう。
何気ない看板の書や日常の中にある書に目を向けてみよう。